

楽しいよ！学校図書館！



6月

大阪市立東生野中学校

学校司書：日置智子

みなさん、6月11日は何の日か知っていますか？ 答えは、「学校図書館の日」です。



「学校図書館の日」なので、学校図書館の館長でもある校長先生よりメッセージです。



【校長先生のメッセージ】

SNS の影響からか、一般的に本を読むことが少なくなってきたと聞いています。中学生にとっても同じことが言えます。本校では図書室の整備に力を入れています。ぜひこの機会に図書室を利用して、気にいった本に出会ってください。

【校長先生のおすすめ本コーナー】

東生野中学校 24期生、有名な作家を知っていますか。東野圭吾さんです。校長先生

が1年生のとき3年生でした。とてもやさしい先輩でした。

その東野圭吾さんの書かれた『あの頃ぼくらはアホでした』という作品があります。

H中学校でのオソロシイ出来事をおもしろく描かれています。

H中学校ってどこでしょう？



『あの二十四期生』と言われるぐらいに問題児が集まっていた中学校に通っていた筆者が、その中学生時代の同級生や教師のことなどを語る【球技大会は命がけ】【消えたクラスメイト】【「したことある者、手を挙げてみい】【剃り込み入れてイエスタディ】【ワルもふつうもそれなりに】などのエッセイ集 **是非、一読を！！**

東野圭吾・作（集英社文庫）

【本の紹介】



さて、校長先生おすすめの東野圭吾さん！東生野中学校の大先輩ですね！今や、日本のミステリー作家の代表的存在です。そんな東野圭吾さんの著書が図書館には多数揃っています。映画化された作品も数多くあります。検索したら、20作品も映画化！？是非、東野圭吾ワールドを味わってみてください。あなたは、どれを推す！？

『手紙』

東野圭吾・作



(文芸春秋)

あなたは映画を見て原作を読む派？原作を読んで映画を観る派？どちらもいいですね！

『流星の絆』

東野圭吾・作



(講談社文庫)

こちらは、さわやかな読後感を求める人におすすめ！ タイトルからも、何となくカッコよく、素敵なイメージがしませんか？



【おススメの本】

ほん

6月と言えば、梅雨。雨の季節です。雨は好きですか？ どしゃぶりで、ぬれちゃうのはいやかもしれませんね？ でも、雨も降らないと野菜も育たないし、困りますよね。そこで、雨のことが少し楽しめる本の紹介です。



『すごすぎる天気の図鑑』



天気のことがわかると、雨だって楽しめちゃいます！更に、天気に合わせた予定まで立てられます！！

荒木健太郎：作 (KADOKAWA)

『でんでんむしのかなしみ』



雨と言えば、アジサイ。アジサイと言えば、でんでんむし。少しネガティブな時にも、沁みる絵本です。アジサイは、生野区の花ですね。

新美南吉：作 (大日本図書)

雨でも、本だけはぬれないようにおねがいします！